

平成 29 年 3 月 24 日

総合科学部「国際共創学科」の設置(構想中)

【概要】

広島大学は平成 30 年 4 月に、国際社会の抱える様々な問題や課題に対して、国家や民族、文化や宗教等の違いを超えて問題の解明と解決を目指す文理融合型教育を行い、学問分野の壁を超えて地球的視点から物事を捉える能力を涵養し、コミュニケーション能力やディベート能力を高め、他者と協調的に活動することのできる国際人を育成する「国際共創学科 (Department of Integrated Global Studies)」を総合科学部に設置する予定です。

新学科では、世界の人々とともに新しい国際社会を創出することを目的とし、学科の共通言語は英語であり、授業も英語で実施します。

入学定員は 1 年次 40 人で、収容定員は 160 人です。日本人を主体とした日本語母語学生と留学生を主とした他言語母語学生が共に学ぶこととしています。

また、国際共創学科が本学のグローバル化推進のコアとして、「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」の育成と本学のグローバルキャンパスを牽引します。

【背景】

急速なグローバル化とともに、世界的な格差の拡大、難民問題の深刻化、国際テロの拡大、気候変動など、現代社会は従来の世界秩序や価値観の大きな転換点にあります。これらの問題は、国境の壁を超えて地球全体に広がっていることから、地球的・汎世界的視点で問題の解明と解決に向けた取組が求められます。こうした課題に取り組むためには、高度なコミュニケーション能力と、国家や地域、文化や宗教、理系と文系の違いといった多様性を尊重できる人材が求められます。大学としての社会的責任を果たすため、国際感覚と学際性、専門性を身につけた日本人、及び日本語を会得し日本社会の特徴を理解した留学生の育成を行います。

【コンセプト】

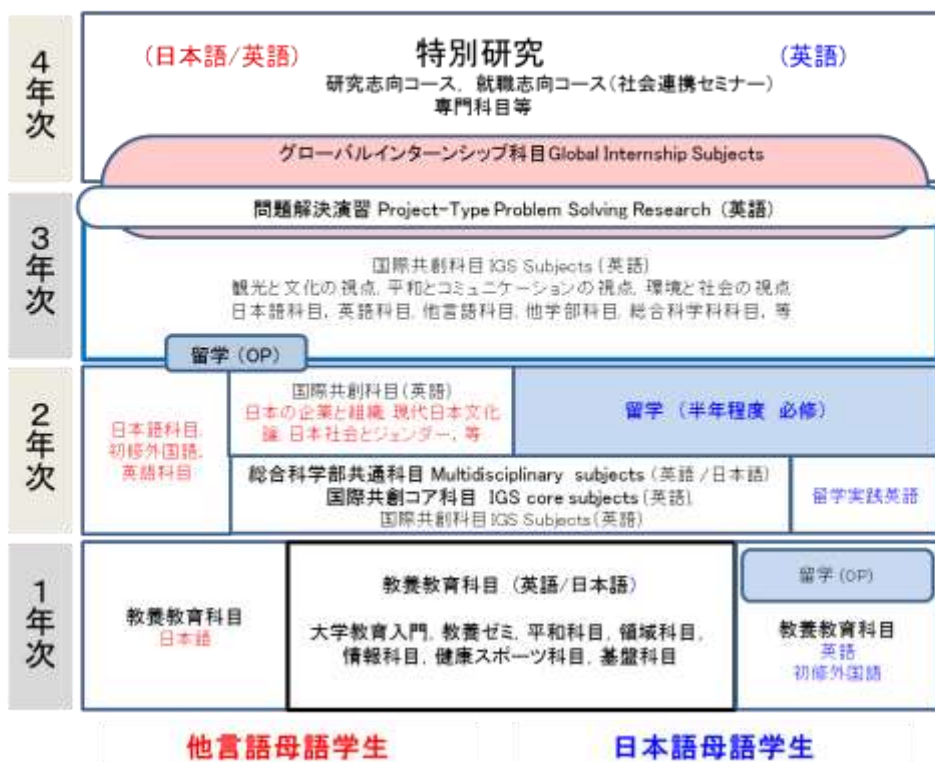
国際共創学科のキーコンセプトは以下のとおりです。

- 英語を共通言語とし、日本人学生と外国人学生が共に学ぶグローバルキャンパス
- 文理融合型のリベラルアーツ教育を基盤とし、国際社会の直面する課題を多角的に学ぶ
- 学生の主体性を重視し、学生の自主性と交流を強める課外環境の提供

【学びの特色】

- 日本人学生と外国人学生が混在したグローバルキャンパスの構築
- 文理融合型のリベラルアーツ教育を基盤とし、国際的な視点を持ちながら、文化と社会の地域性、自然界の法則を理解し、自分の専門分野のアイデンティティーを持つことのできる教育を行う
- PBL やグループワークといったアクティブラーニングを多用し、英語で授業を行う
- 日本人学生は英語を、外国人学生は日本語を学び、両言語を使ったコミュニケーションやディベートを行う
- 日本人学生は2年生で海外留学し、経験を積む
- 学生はチューターとの密接な相談を踏まえて学修目標を明確にするとともに、自分の関心にあった履修計画を立て、計画に沿って授業を受ける
- 文化と観光、平和とコミュニケーション、環境と社会という、3つの視点から多角的に学ぶことで、普遍的に世界を鳥瞰できる能力を養う
- グローバルインターンシップや問題解決演習により、実社会と直結したアクティブラーニングの実施

国際共創学科 Integrated Global Studies (IGS) カリキュラム概要



【どのような人材を養成するのか】

- 国際社会の抱える課題を文理の多角的な視点から理解・分析することができる学際的思考力を有した人材
- 国や地域、文化や宗教、言語といった壁を超えて他者を理解し、人間社会とそれを取り巻く自然を包含した地球的視点でものごとを考察できる地球的展望のできる人材
- 国際社会の抱える課題に対して、平和を希求する心を持って対応し、国際平和・人と自然の調和のために協調的・創造的に取り組むことができる協調的行動力を有した人材

【入学者選抜の特徴】

- センター入試を課した一般入試（前期日程）
- センター入試を課さない AO 入試
 - ◇ AO 国際型（外国人留学生）
 - ◇ AO 総合評価方式 I 型（国籍を問わない）
 - ◇ AO 対象別評価方式（帰国生）

【想定される進路】

国際的な展開をしている日本企業や日本企業の現地法人、多国籍企業、外資系企業、国内外の公的機関職員、国際 NPO、NGO、旅行会社、国際ジャーナリスト、大学院進学、等

上記の内容については構想中であり、今後変更する場合があります。